

令和3(2021)年度学校評価保護者アンケートの分析

※アンケート回収率75%(全保護者24名中18名)

1 学校評価アンケート質問数及び質問内容の変更について

- (1) 重点目標との関連性を強めるために、質問内容を変更した。

参考:「学校評価ガイドライン」(H28.3.22 文部科学省)

- (2) 保護者の負担を軽減するために、質問数を22問から14問、A4用紙片面にした。

参考:義務教育諸学校及び県内特別支援学校の学校評価アンケート

2 学校アンケート調査結果

評価基準 A:よくあてはまる B:やや当てはまる C:あまり当てはまらない
D:当てはまらない E:わからない

〔教育活動全般について〕

- ・1個別の教育支援計画等、2人権及び個人情報の保護、3健康・安全、の項目は、A+B の評価で100%であった。
- ・4災害対策では、E:わからないが前年比2名増の2名であった。
- ・5いじめ防止では、A+Bは89%と高かったが、昨年度に比べて、Bの割合が増えた。

【考察】

4災害対策、5いじめ防止について、昨年度と今年度の取り組み状況や情報発信の比較を行いつつ、次年度に向けた改善点を考えていく。

〔児童生徒の指導について〕

- ・1教材教具の工夫、2成長に合わせた教育活動、4進路指導の項目で、A+Bが90%以上であった。
- ・重点項目である2成長に合わせた教育活動はA+Bが100%、3かわりをもてる場の設は84%であった。
- ・3児童生徒会活動・学校行事ではCが1名、Eが1名であった。

【考察】

4については、A+Bでは大きく変わらないものの、Bの増加傾向が見られ、情報提供の方法や時期を再検討すべきと思われる。

〔家庭・地域・関係機関との連携について〕

- ・2PTA活動、3交流活動、4情報発信の項目で、A+Bがおおよそ90%以上になった。
- ・重点目標の5栃木県リハビリテーションセンターとの連携は、A+Bが84%で、C、D、Eが各6%であった。

【考察】

5 栃木県リハビリテーションセンターとの連携については、C, D, E がすべて通学生であったこととの因果関係の有無なども見取りつつ、改善が必要かどうかを見極めていく。

2 まとめ

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、学校行事の変更があり、PTA 活動も計画通りに行えない状況が多くあった。今回のアンケートでは、ホームページでの発信、各種通信、連絡帳や電話を活用しての保護者への連絡、保護者懇談などの情報発信により、改善点はあるものの、本校の教育活動が保護者に伝わっていることが分かった。

栃木県立リハビリテーションとの連携では、同センタースタッフが、校外宿泊行事に御協力いただいたり、本校の職員研修に協力いただいたりした。また、本校もセンター生の帰省後の授業対応など、同センターからの要請を受けて授業対応を行った。これらのことから、今まで以上に、同センターとの関係が重要であることを強く認識した。次年度も、同センターとの連携を十分に図っていきたい。また、通学生の保護者との連携も同様に、児童生徒の健康安全についての対応を行っていきたい。

来年度も、ICTの活用等はじめ、必要な教育活動の見直しを行いながら、児童生徒、保護者の思いを受け止め、地域や関係機関と連携し、情報共有とコミュニケーションを大切にしたい。本校の教育活動を行っていききたい。